

29年度 見附市教育センター 第4回 4時から夢塾



日時：平成29年6月13日(火)16:00～16:45

会場：見附市役所 大会議室

テーマ：「特別の教科 道徳」の授業改善

「特別の教科 道徳」の授業の在り方について、道徳科の指導書解説編を基にして、講義を行いました。道徳性を養うために行う道徳科における学習について、どのように進めるのか（自己を見つめる、物事を多面的、多角的に考える、自己の生き方についての考えを深めるなど）を学びました。

講師：平 良徳 様（見附市立上北谷小学校長）

◎講義（「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」を使って）



(1) 「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」)

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、①道徳的諸価値についての理解を基に、②自己を見つめ、③物事を多面的・多角的に考え、④自己の生き方についての考えを深める学習を通して、①道徳的判断力、②心情、③実践意欲と態度を育てる。

(2) 道徳性を養うために行う道徳科における学習（大事なポイントだけ記しました）

①道徳的諸価値について理解する

一つは、①内容項目を、人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解することである。二つは、②道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解することである。三つは、③道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということを前提として理解することである。道徳的価値が人間らしさを表すものであることに気付き、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深めていくようにする。

②自己を見つめる

・・・自己を見つめるとは、自分との関わり、つまりこれまでの自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、更に考えを深めることである。このような学習を通して、児童一人一人は、道徳的価値の理解と同時に自己理解を深めることになる。また、児童自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるようになる。

③物事を多面的・多角的に考える

・・・このように、道徳的価値の理解を基に、①自己を見つめ、②物事を多面的・多角的に考えるという道徳的価値の自覚を深める過程で、道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるのである。その中で、自己や社会の未来に夢や希望がもてるようにすることが大切である。

物事を多面的・多角的に考える指導のためには、物事を一面的に捉えるのではなく、児童自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解し、主体的に学習に取り組むことができるようにすることが大切である。

④自己の生き方についての考えを深める

児童は、道徳的価値の理解を基に自己を見つめるなどの道徳的価値の自覚を深める過程で、同時に自己の生き方についての考えを深めているが、特にそのことを強く意識させることが重要である。

児童が道徳的価値の理解を基に、①自己を見つめ、②物事を多面的・多角的に考えることを通して形成された道徳的価値観を基盤として、③自己の生き方についての考えを深めていくことができるようにすることが大切である。

その際、道徳的価値の理解を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすることができるようにするなど、特に自己の生き方についての考えを深めることを強く意識して指導することが重要である

<参加者の声> 新しい教科「道徳」への移行、「どうなるんだろう」とか「どうするんだろう」と右往左往するのではなく、大元のテキストにあたることの大切さを受け止めることができた。